

うつ病対策ビジョン策定せよ

神奈川県議会で渡辺議員

地方議会

代表一般質問から

18日に開かれた神奈川

川県議会本会議で公明



渡辺均議員

党の渡辺均議員は、うつ病対策について質問した。

渡辺議員は、うつ病による自殺や児童虐待事件、一人暮らしの高齢者の孤独死などが増加し、国民の健康や生

命を脅かす深刻な問題になっている中で、行政を含め、社会全体としての取り組みが大幅に遅れていると指摘。

「うつ病に対する知識の周知や早期発見・治療の連携体制づくり、

受診率の向上、患者の家族に対する支援などを取り入れた総合的な、うつ病対策ビジョンを策定し、県民を守っていく必要がある」と訴えた。

これに対し、松沢成文知事は、今年度中に総合的な指針を策定し、対策を進めていく考えを示した。